

# 歴史あるダンスコンクール



## 日本女子体育大学

日本女子体育大学では、舞踊教育の普及と質の向上を図ることを目的に、1948年(昭和23年)から同大学主催の全国中学校・高等学校ダンスコンクールを開催している。毎年全国から中学校は30校500人有余が、高校は50校800人有余が一堂に会し、学校のクラブ活動やサークルでの日頃の練習成果を競い合う、日本で最も歴史あるダンスコンクールの1つである。このコンクールが、全国で活躍している中学生と高校生が切磋琢磨できる有意義な場となることを願っている。



四天王寺大学

学生が自治体の課題解決を提案!

四天王寺大学では、地域が抱える課題の解決や地域活性化へ向けた施策を学生が企画・提案する「地域連携学生企画プロジェクト」を実施している。学生は大学近隣の羽曳野市・藤井寺市より示された地域課題の解決に向けて、調査や取材を実施。今年度、最優秀賞を受賞した学生は「羽曳野市と藤井寺市を丸ごと堪能できるツアー」と題し、両市へ観光客を誘致するために、オリジナルのパンフレットやツアー動画を、学生が自ら実際に制作して両市の魅力発信を提案した。昨年12月7日(土)に実施された最終選考では審査員として須原祥二学長をはじめ、両市長らが参加した。

# “想いをこめて”13回を数える お弁当甲子園



## 鎌倉女子大学

鎌倉女子大学が主催する「お弁当甲子園」は、“お弁当であなたの想いを表現しよう”をテーマに、高校生を対象に実施している。毎年、全国の高校生から応募があり、13回目を迎える今年は、過去最多となる1万1296の作品が寄せられた。特別審査委員としてNHK「サラメシ」にてお弁当ハンターとしても出演中の阿部了氏を迎え選考を行い、団体最優秀校には文部科学大臣賞が贈られる。昨年11月3日(日・祝)には同大学大船キャンパスにて表彰式を行った。

# キャンパス万華鏡 大学主催のコンテスト

学生や高校生などを対象に創造力の発揮や実践的な経験の場として大学では様々なコンテストが開催されている。豊かなアイデアが地域社会へ貢献また企業との交流の促進にもつながっている。加盟大学で開催されている様々なコンテストを紹介する。



## 高校生が考える

# 空き不動産活用コンテストを開催!

## 明海大学

明海大学不動産学部が高校生を対象に不動産を身近に感じてもらうことを目的に、『2024高校生が考える「空き不動産活用コンテスト」』を開催した。『人の交流〜街の活力は「人の交流」を源としている〜』をテーマに、高校生から空き地・空き家・空き店舗など、街の使われていない不動産を活用したアイデアを募集した。応募のあった285作品のうち11作品が入選作品として選ばれ、明海大学浦安キャンパスで開催した最終審査会で最終プレゼンテーションを行った。2025年度も高校生対象のコンテストを開催予定。



## 学ぶコンテスト

# 初代学長の物語から

## 神戸学院大学

神戸学院大学は初代学長を務めた故・森茂樹(医学博士)の生涯と業績をまとめた「森茂樹物語」を読んで感じたことを自由に表現してもらった作品募集企画を毎年、「自校の歴史から学ぶ月間」の12月に実施している。対象は同大の学生と大学院生。「森茂樹物語」は大学ホームページで公開している。エッセイ、俳句、写真、イラストなど応募作品は多岐にわたる。(上記のイラストは2023年度の優秀賞受賞作の一つ)

# わたしの住まい リフォームデザイン案 コンテスト

## 岐阜女子大学

老朽化した建物は、解体して新しく建て替えるという従来の方式が反省されるなかで、今日では、リフォーム、リノベーションあるいはコンバージョンを通して、建物を更新する必要性が増えている。岐阜女子大学の建築デザイン専攻でも空き家をリノベーションし活用する取り組みなども行っている。このコンテストでは、少子高齢化が進む社会の中で、環境に配慮し、多様化するニーズに対応する住まいを、リフォームやリノベーションを通して幅広く見つめなおし、あらためて住まいを考えるきっかけになってほしいと考え実施している。



# 食のアイデアコンテスト

## 人間総合科学大学

人間総合科学大学では全国の高校生を対象に毎年「食のアイデアコンテスト」を実施しており、2024年で6回目の開催となり、①郷土食・郷土の特産品を使った食品・レシピ開発、②家庭での食品ロスを減らすための方法または食品・レシピ開発の2分野を募集した。年々応募数が増え、2024年度はそれぞれ応募件数、141件と202件の中から、6月に最優秀賞・優秀賞・特別賞などが決定し、7月に表彰式が行われた。

# 高校生の創作活動の応援!



## 文星芸術大学

高校生の創作活動の応援と、新しい才能の発見を目的とした文星芸術大学主催の「高校生対象芸術公募展」。開かれた発表の場として、2024年度ではイラスト、写真、工芸クラフト、短編マンガ、アート、エッセイの6部門から、オリジナル作品を公募し、全国から502点もの作品が集まった。各部門での受賞者と作品は同大学ホームページで公開し、表彰式をオープンキャンパスで挙行了た。2025年度も開催に向けて準備中。



# 高校生140人がグループワーク! チーム医療体験会を開催!

## 新潟医療福祉大学

新潟医療福祉大学は、昨年8月6日、保健・医療・福祉・スポーツの専門職を目指す高校生を対象に「チーム医療体験会」を開催。新潟県内の高校7校から約140人の高校生が参加。午前は、高校生が希望する資格・職業の理解を深めるため、各資格・職業に分かれ、学習。午後は、多職種連携を学ぶグループワークを行った。

# 名古屋グランパス・ビジネスコンテスト



## 愛知東邦大学

毎年暮れの予選会から年明け新年に決勝審査を行う、恒例の愛知東邦大学と教育連携先であるサッカーJ1リーグの名古屋グランパスと協同開催するビジネスコンテストを実施している。毎年、名古屋グランパス×○○○=○○○とテーマを絞って実施する。また例年、名古屋グランパスから提供される豪華な副賞を目指し多くの学生グループがエントリーをしている。本年度5回目を迎えるが、コロナによる自粛の時期にも、すべてをオンラインの形態に変え続けてきた。また昨年同大が協定する高校にも声をかけて高校生の部もあらたに実施することとなった。